

- 【調査速報】 川の中から前方後円墳を発見！—近江八幡市江頭南遺跡—
- 【体験学習】 古代の技術を体感しよう！—製作体験から昔の技術を学ぶ—
- 【お知らせ】 催物案内—2024年7月～9月—



## 【調査速報】 川の中から前方後円墳を発見！

おうみ はちまん えがしらみなみ  
—近江八幡市江頭南遺跡—



古墳に並べられた埴輪 (写真提供：滋賀県)

江頭南遺跡は、2019年に日野川の中で不時発見された遺跡です。当時、野鳥観察中の県民が川の中に埴輪が並んでいるのをみつけ、これまで知られていなかった古墳の存在が明らかになりました。

2022・2023年には河川改修工事に伴い、川の一部をせき止めて発掘調査を実施しました。

調査の結果、みつかった埴輪列は、前方後円墳の前方部に配置されたものでわかりました。

かつて陸地に築かれた古墳が、洪水などによる埋没と浸食を繰り返すなかで、再び現代に姿を現すこととなったのです。



中洲での調査の様子



### ◆強固な造りの墳丘

今回、埴輪列が見つかった場所は、川に沿って細長くのびた中洲状の「高まり」部分です。詳しく調査すると、この「高まり」は自然に形成されたのではなく、人為的に築かれた古墳の墳丘であることがわかりました。

墳丘は、整地した上に盛土をしており、墳丘の芯となる部分は細かい単位で丁寧に盛土されていました。また、盛土には、水に強く、乾燥状態では強固になる粘土が使われていました。

長い間、川の中に眠っていたにもかかわらず墳丘の一部が残存したのは、優れた盛土技術があったためと考えられます。

残念ながら後円部の大半は流出しており、埋葬施設については確認できませんでした。また、古墳の裾部も水流で浸食されており、古墳の規模を確定することは困難でした。

### ◆埴輪列と古墳の形

みつかった埴輪は、倒壊していたものの大きく移動した様子はなく、ほぼ原位置を保っていると考えられます。埴輪は直線的で、大きく「ハ」の字形に開いた状態で並んでおり、前方後円墳の前方部に配置されていたものと考えられます。いずれも同じ方向に倒れており、緩やかな水流の中で、ゆっくりと埋没していったようです。

### ◆出土した埴輪

出土した埴輪は22個体で、普通円筒埴輪と、上部が開く形状の朝顔形埴輪とがあります。

これらの埴輪は、灰色に近い色調などから須恵器窯で焼かれたと考えられます。

### ◆古墳の時期

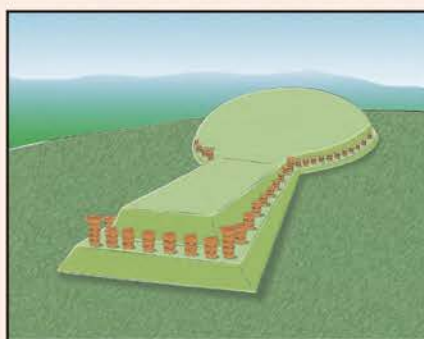
大きく開く前方部が復元されることや、近隣で確認される須恵器窯操業の時期から、古墳の築造時期は5世紀後半～6世紀前半と推定されます。



墳丘断面（盛土の単位が横シマ状に確認できる）



墳丘推定図



←みつかった古墳のイメージ図



出土した埴輪



詳細資料



しがぶんちゃん



# 古代の技術を体感しよう！ —製作体験から昔の技術を学ぶ—

現代のように便利な道具や化学製品がなかった頃には、ひとつの製品を作るのも大変な作業で、また、それだけにひとつひとつの製品も、より貴重で大切なものでした。今回は、3つの製作体験から古代の技術を学びます。

いずれの体験も、作った作品は持ち帰ることができます。あなただけの特別なアイテムを作ってみましょう！



## 【勾玉を作ろう!】—勾玉製作体験—

弥生時代～古墳時代のアクセサリーのひとつに勾玉があります。その多くはヒスイ・水晶・メノウなどの石を削ってつくられています。

体験では、比較的やわらかい「ろう石」を素材として、ヤスリなどで勾玉の形に整えた後、表面を磨いていきます。ていねいに何度も磨くほど、なめらかで光沢があり、美しい玉に仕上がります。



## 【染ものを作ろう!】—染色体験—

合成染料がなかったころは、草木や土など自然の素材が、染色のための材料でした。

古代には、染料はおしゃれだけでなく、厳密な身分ごとに決まっていた色の官服を染めるものとして、重要でした。一定の色できれいに染めるのは難しいものです。

体験では、その季節ならではの天然の材料をつかった染め方に挑戦できます。



## 【鏡を作ろう!】—ちゅうぞう 鑄造体験—

古墳時代と同じデザインで、小型のレプリカを作ります。東近江市の雪野山古墳から出土した「ないこうかもんきょう 内行花文鏡」をモデルとしています。

体験では、比較的低い温度で溶ける特殊な合金を材料に、鑄造という方法で作ります。加熱して溶かした金属を型に流し込んで、型から取り出した後、鏡面を磨いて完成です。ピカピカに磨いて、顔を映してみましょう。

どきっち



しがぶんちゃん

### ◆日程・申込など（問合先:077-548-9681）

- 各回定員:15名 \*要申込
- 申込期間:2024年6月24日(月)～7月15日(月) \*抽選
- 申込方法:往復はがき、またはメールで下記まで。

〒520-2122

滋賀県大津市瀬田南大萱町1732-2

滋賀県埋蔵文化財センター

e-mail:shigamaibun-center@guitar.ocn.ne.jp



詳細案内

※会場:滋賀県埋蔵文化財センター

日程	時間	イベント	申込	参加費
8/4(日)	10:00～12:00	勾玉を作ろう!	要	500円
8/4(日)	14:00～16:00	勾玉を作ろう!	要	500円
8/7(水)	10:00～12:00	鏡を作ろう!	要	1000円
8/7(水)	14:00～16:00	鏡を作ろう!	要	1000円
8/10(土)	10:00～12:00	染ものを作ろう!	要	500円
8/10(土)	14:00～16:00	染ものを作ろう!	要	500円



# 催物案内 —2024年7月～9月—

## ◆催物案内 1 ～会場：滋賀県埋蔵文化財センター～



【開催時間】9:00～17:00 (入館は16:30まで) / 【休館日】土・日・祝日 / 【入館料】無料

※やむをえず、会期・内容を変更する場合がございます。最新情報はお問い合わせいただくか、ホームページでご確認ください。

### ●「近江の壺にはまる—壺・壺・ツボ・つぼ大集合」 展示期間：(開催中)～2024年7月5日(金)

日常生活の中にひとつは存在するであろう壺。現代の壺は大きさ、形、種類またその用途は多様性に富んでいます。近江の壺はいつ出現し、どのように発展したのかに焦点を当て紹介しています。



埋蔵文化財センター



～始まりの壺～  
縄文土器浅鉢変容壺(大津市穴太遺跡)



～小さな壺～  
弥生土器小型壺・ミニチュア壺  
(守山市赤野井浜・小津浜遺跡)



～葬送の壺～  
須恵器装飾付壺  
(近江八幡市岡山城遺跡)



～お骨を入れた壺～  
信楽焼壺  
(大津市霊山遺跡)

#### 【主な展示遺跡】

大津市穴太遺跡(縄文時代晩期) / 守山市赤野井浜遺跡(縄文時代晩期～弥生時代中期) / 草津市烏丸崎遺跡(弥生時代前・中期) / 大津市関津遺跡(奈良時代) / 大津市霊山遺跡(室町時代)

### ★同時開催：土偶好き必見！「土偶にはまる—相谷熊原土偶と滋賀の土偶たち」

滋賀県が所蔵する縄文時代・弥生時代の土偶や弥生時代の土偶形容器・人形土製品のすべてを一堂に展示!!



土偶(大津市栗津湖底遺跡)

#### 【展示している主な土偶】

土偶(大津市栗津湖底遺跡 縄文時代中期) / ハート形土偶(甲良町小川原遺跡 縄文時代後期) / 分銅形土偶(高島市仏性寺遺跡 縄文時代後期) / 遮光器土偶(大津市滋賀里遺跡 縄文時代晩期) / 屈折像土偶・黥面土偶(守山市赤野井浜遺跡 縄文時代晩期) / 土偶形容器(守山市赤野井浜遺跡・竜王町堤ヶ谷遺跡 弥生時代中期)

#### ※期間限定展示

7月1日(月)～5日(金)は、ご要望の多かった日本最古級の相谷熊原遺跡出土土偶を公開しております。実物を間近でご覧いただける貴重な機会です。ぜひお越しください。



土偶(東近江市相谷熊原遺跡)

### ●「レトロ・レトロの展覧会2024」 展示期間 2024年7月22日(月)～8月30日(金) (予定)

栗東市域で行われた調査成果によって、古墳時代～平安時代の金属生産の一端が垣間見えてきました。2024年度に整理調査を実施する事業のうち栗東市出庭遺跡と高野遺跡の調査成果を展示します。



当協会

## ◆催物案内 2

\* 問合先: 077-522-8179 (滋賀県立琵琶湖文化館)



日程	時間	種類	イベント	定員	予約	参加費	会場
開催中～9/26(木)	9:00～17:00	展示	地域連携企画展「幕末を生きた人々の残像～公文書に残る直筆書簡～」	無	不要	無料	滋賀県立公文書館(大津市)
7/17(水)	14:00～15:30	講座	花湖さんの打出のコツ③「文化財保存のしごと—「地域文化財のサポートセンター」実現に向けて」講師: 武内里水(県立琵琶湖文化館)	200名	要	無料	コラボしが21(大津市) * サテライト会場有
8/20(火)	14:00～15:30	講座	花湖さんの打出のコツ④「隈研吾建築と滋賀県」講師: 田澤梓(県立琵琶湖文化館)	200名	要	無料	コラボしが21(大津市) * サテライト会場有
9/18(水)	14:00～15:30	講座	花湖さんの打出のコツ⑤「建造物文化財修理の最前線—国宝延暦寺根本中堂・重文不動寺本堂を中心に—」講師: 福吉直樹・長谷川聡子・坪田敬伴(滋賀県文化スポーツ部)	200名	要	無料	コラボしが21(大津市) * サテライト会場有
9/21(土)～11/24(日)	10:00～17:00	展示	地域連携企画展「滋賀限定! 近江ゆかりの書画—古写経から近代書まで—」	無	不要	入館料	観峰館(東近江市)

◆その他 : 滋賀県立安土城考古博物館リニューアル工事にかかる臨時休館: ～2024年9月2日(月)まで → 同年9月3日(火)～開館 常設展(縄文時代～古墳時代)再開  
※2025年春、リニューアルオープン予定!

まめのぶくん

